

ベトナムの送出し機関から見た

ベトナム人実習生とのより良い
コミュニケーション作り
(受入企業用簡易版)

主催：公益財団法人 日中技能者交流センター

著作：ICO Japan (ICO Groupの日本駐在法人)

目次

- ① ベトナム人とベトナム人技能実習生の特徴／特性を知る
- ② 良いコミュニケーションにより監理・指導の質を高める
- ③ より良いコミュニケーションを作る具体的な対策案
- ④ トラブル防止の総合的な対策

① ベトナム人とベトナム人技能実習生の特徴／特性を知る

ベトナム人の特徴／特性

- 家族を大切にする。どの組織でも**家族感**が望まれる。
- 賑やかで、よく盛り上がっている。
- 人と**気軽に親しく**なりたがる資質だが、初対面で**シャイ**になりがちである。
- 好奇心を持つ。
- 発展国に行ったら劣等感を抱え**心が傷つきやすい**人が多い。
- **親切さに感動**しやすい。褒めてもらいたがる。

① ベトナム人とベトナム人技能実習生の特徴／特性を知る

ベトナム人技能実習生の特徴／特性

- 勤勉だが、そもそも**勉強の力がそんなに強くない**。
- ほとんど田舎出身で真面目だが、**近代的な仕事マナーが欠けた**。
- 大部分は若者で、インターネットやSNSの使用が欠かせない。
- 若ければ若いほど、**悪いことでも誘いにはまりやすくなる**。
- 若ければ若いほど、しっかりした責任感が弱くなる。
- ほとんど将来のためお金を稼ぎに日本に来る。
- ベトナム人といっても**出身地や募集条件次第**で来る人がかなり違う。

②良いコミュニケーションにより監理・指導の質を高める

- **違う文化で育ってきた**ベトナム人技能実習生に対する監理や指導の仕方は、日本人社員の監理／指導と全く同じにしてはいけない。
- そこで、ベトナム人技能実習生の**特徴／特性をよく把握した上で**職場でも職場以外でも**良いコミュニケーション**を作ることが大事。

良いコミュニケーション



不安を解消する

小さい不満を解決する



安心

②良いコミュニケーションにより監理・指導の質を高める

■ まずは心構えをしましょう！

良い考え方（例）

- 外国から来たから、仕事でも生活でも慣れるまで少し時間が必要となるので、最初は大目で見、積極的に優しくサポートする。
- 技能実習が目的ではなくあくまでも将来への準備なので技能実習以外にも日本語勉強、日本社会の体験もできる限りサポートする。
- 給料が大切だが、気持ち的に安心して楽しく技能実習させるために働く環境と仕事以外の交流も充実させた方が効果が良いです。

よくない考え方（例）

- 外国人労働者の採用によりコストを削減できるし転職できないから楽に安い人材を確保できる。
- 「待遇は日本人と同等」で設定しないといけないから扱うのも区別する必要がなく日本人の社員のように扱って良い。
- SNSなどでの交流によりトラブルがよく発生するからできれば携帯持ち禁止やwifi禁止など縛りをどんどん導入した方がセーフ。

③ より良いコミュニケーションを作る具体的な対策案

職 場 で

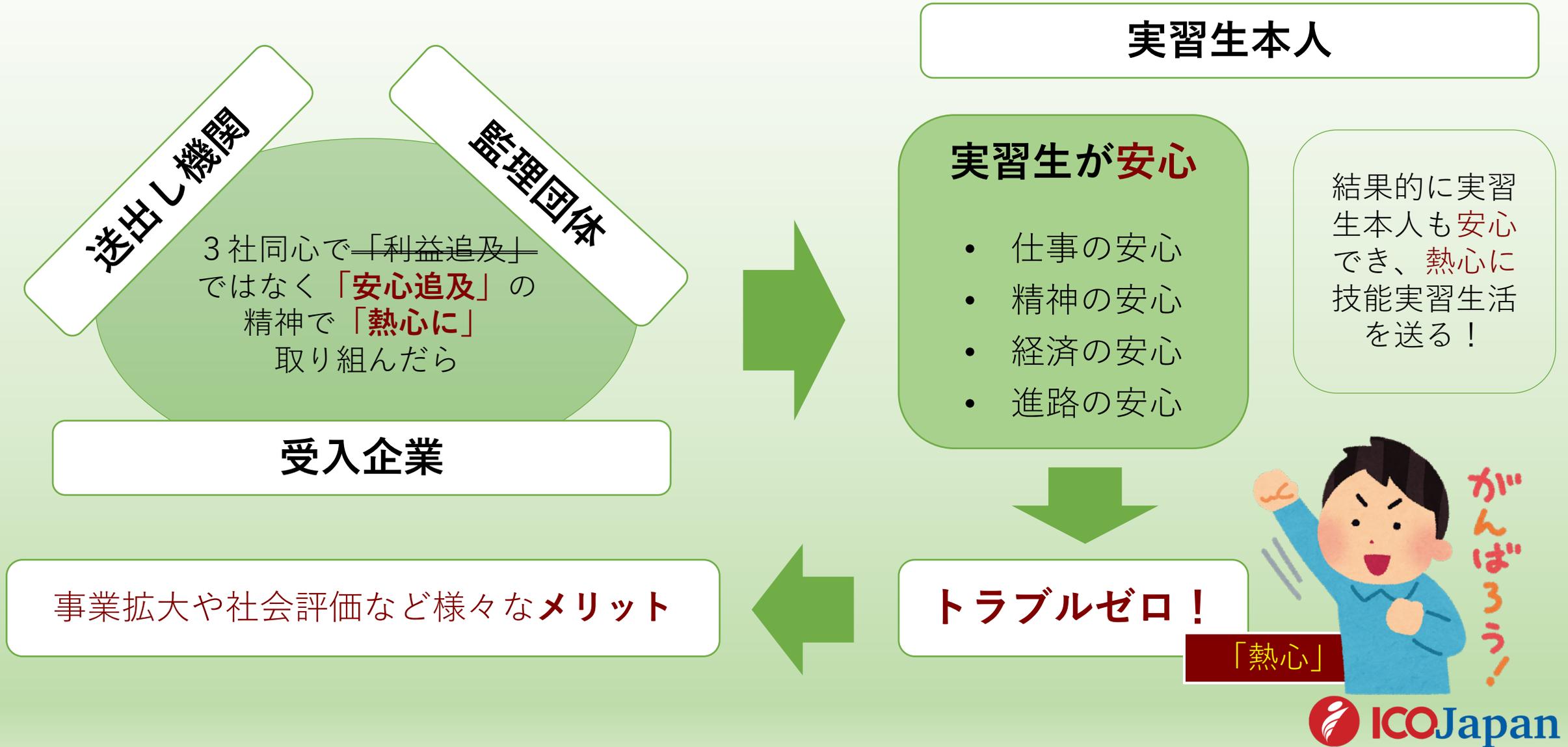
- 作業を指導する時、ゆっくり教える。**慣れるまでフォローする。**
- 指導する時、簡単な日本語や短い文で説明する。
- **暴力やいじめ**など考えられてしまう言動に**気をつける。**
- 実習生の指導・説明されたことへの理解を再確認する。
(教えたことを実習生に復唱させるなど)
- 雇用契約書以外の作業をさせない。
- 少しでも、能力の上達による**ステップアップ制**を設ける。

③ より良いコミュニケーションを作る具体的な対策案

職 場 外 で

- 実習生の出身地や性格、年齢を配慮して寮配分を調整する。
- 寮を定期的に訪問する（気軽に）。
- 実習生の困った事を早めに把握して**細かく助言してあげる**。
- 文化や趣味、家族のことを積極的に尋ね、**個人関係を築く**。
- 休みの日の**日本語学習**にできる限り援助・支援してあげる。
- 社内交流会や見学、社員旅行など**交流・体験活動**を行う。
- できれば中期で家族訪問の帰国をさせる。

④ トラブル防止の総合的な対策



ご精読ありがとうございました！